

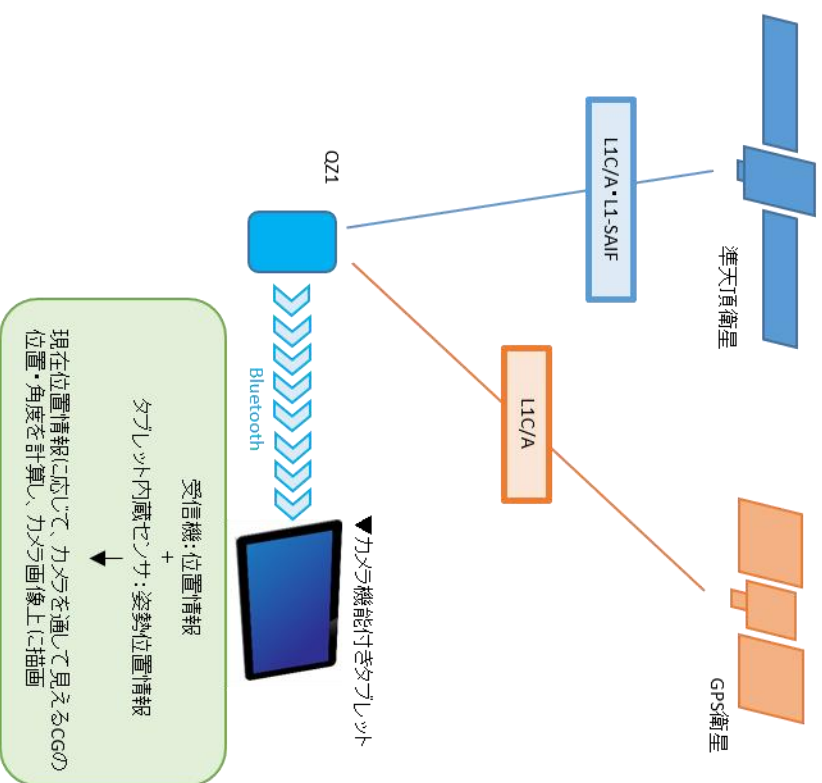
□利用実証提案書
■利用実証計画書

平成 27 年 11 月 1 日 Ver.2

テーマ	位置情報を利用した AR システムを用いた屋外環境流れの可視化における準天頂衛星の有効性の検証	
実証参加機関 (共同機関)	中央大学 工学部 都市環境学科 計算力学研究室 東京都市大学 メディア情報学部 情報システム学科	
目的	GPS より得られたカメラの位置情報を利用して, Augmented Reality (拡張現実感) を実現する場合, 位置情報に測位精度誤差があるため, 現実空間と仮想情報との相対的な位置関係にズレが生じることが問題となっている。そこで準天頂衛星を用いて補正された位置情報を利用することで測位精度の向上が得られることを期待し, 現在使用しているシステムに有効であるかを検証する。	
期間	全体	2015 年 11 月 9 日 ~ 2016 年 3 月 31 日
	時間・頻度	●時間: 日中時間帯 ●頻度: 借用期間中週 5 回程度
実施場所	●地名: 東京都港区台場 お台場海浜 東京都文京区春日 中央大学工学部キャンパス内 ●環境: 海辺/大学キャンパス内	
構成 ※必要に応じて構成図等を次ページ以降に添付	別紙参照	
内容 ※必要に応じて次ページ以降に添付	<ul style="list-style-type: none"> ●実証概要 <ul style="list-style-type: none"> ・検証者が対象領域周辺(主に水際線)を静止または移動 ・受信機設置状態: 検証者が首から下げる ・移動する範囲: 海岸線 1 キロ程度 ・取得データ: NMEA ●実証の確認及び評価(利用効果の定量的評価方法) <ul style="list-style-type: none"> ・受信データを確認しつつ, カメラ映像と CG オブジェクトの幾何学的整合性を確認 ●確認時期 <ul style="list-style-type: none"> ・リアルタイム 	
受信信号	<ul style="list-style-type: none"> ●使用する測位信号 <ul style="list-style-type: none"> ・GPS: L1C/A ・QZS: L1C/A, L1-SAIF 	
受信設備	<ul style="list-style-type: none"> ●使用する測位信号受信機などを記載 ■貸与品目/数(QZ-1 / 2台 □持込品目/数(/) 	
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> ●測位結果確認ソフトウェア ■ソフトウェア名称 Microsoft:Surface Pro3 	

実証前の要求事項	
実証時の要求事項	
実証後の要求事項	
その他	

■システム構成



■実装イメージ

